

貴重な各地方援護局史を収録。日本近現代史研究の未開拓分野「海外引揚」の基礎文献。

KINOKUNIYA ON DEMAND SERIES

●シリーズ 戦後処理とアジア 第Ⅱ期●

海外引揚 関係史料集成

[国内篇]

全16巻

■監修・編集 加藤 聖文

国文学研究資料館アーカイブズ研究系助手



ゆまに書房

「大陸」「半島」「南方」……各地からの引揚・復員そして、送還に関する詳細な記述とデータの宝庫。

刊行のことば

国文学研究資料館アーカイブズ研究系助手

加藤聖文

我々の一般的な歴史感覚としては、八月十五日を境に戦前と戦後が分けられ、あたかも戦争が完全に終結して、全く別の新しい時代が始まつたかのような印象を持つのが普通である。しかし、実際においては、内地と旧外地（植民地）とでは全く異なる八月十五日を迎えたのであり、内地では新しい時代の始まりと捉えたのに対して、旧外地では新時代の到来ではなく、戦前の「清算」が始まつたにすぎず、内地の日本人と旧外地の日本人との間には既に戦後のスタート時点から越えがたい大きな深い溝が存在していた。こうした日本人間の意識ギャップは戦後復興の中に埋没し、引揚問題は関係者の体験談のかたちで語り継がれるのみとなつた。しかし、

戦後において引揚問題が一般の日本人の奥底に沈殿し、社会に埋没していくことは、そもそも何故に引揚者が発生したのかを深く考える機会を奪い、多くの日本人が、戦前の日本は広大な植民地を擁する「帝国」であつたことを看過する結果をもたらした。こうした事態は近年の歴史認識をめぐる諸外国との摩擦を生み出す一つの要因ともなつたと考えられる。

また、戦後歴史学においても引揚問題に対する関心は低かつた。これは引揚問題が米ソ冷戦構造の影響により現実の政治問題と密接不可分であったことが大きく影響していた。しかしながら、近年引揚問題への注目は徐々に高まりつつあり、今後はより活発な研究が期待される分野もある。ただし、歴史学研究にとつて不可欠な引揚問題に関する史料は決して多いとはいえない、また史料に関する情報も不足しているのが現状である。このような環境を少しでも前進させることを目的として、編者がこれまでに全国各地で収集してきた史料のうちの一部を史料集として刊行することを企図し、今回ゆまに書房によつて刊行することが可能となつた。

石川	愛媛	高知	大分	大慶	鹿児島	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄	県名	六月
一	二	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一
三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	二
四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	三
五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	四
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	五
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	六
八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	七
九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	八
十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	九
十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	十
十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	十一
十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	十二
十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	十三
十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十四	二十五	二十六	十四
十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十四	二十五	二十六	二十七	十五
十七	十八	十九	二十	二十一	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	十六
十八	十九	二十	二十一	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	十七
十九	二十	二十一	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	十八
二十	二十一	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	十九
二十一	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	二十
二十二	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	二十一
二十三	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	二十二
二十四	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	二十三
二十五	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	二十四
二十六	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	二十五
二十七	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	二十六
二十八	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	二十七
二十九	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	二十八
三十	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	二十九
三十一	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	三十
三十二	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	三十一
三十三	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	三十二
三十四	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	三十三
三十五	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	三十四
三十六	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	三十五
三十七	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	三十六
三十八	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	三十七
三十九	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	三十八
四十	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	三十九
四十一	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	四十
四十二	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	四十一
四十三	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	四十二
四十四	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	四十三
四十五	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	四十四
四十六	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	四十五
四十七	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	四十六
四十八	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	四十七
四十九	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	四十八
五十	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	四十九
五十一	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	五十
五十二	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	五十一
五十三	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	五十二
五十四	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	五十三
五十五	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	五十四
五十六	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	五十五
五十七	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	五十六
五十八	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	五十七
五十九	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	五十八
六十	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	五十九
六十一	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	六十
六十二	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	六十一
六十三	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	六十二
六十四	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	六十三
六十五	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	六十四
六十六	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	六十五
六十七	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	六十六
六十八	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	六十七
六十九	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	六十八
七十	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	六十九
七十一	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	七十
七十二	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	七十一
七十三	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	七十二
七十四	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	七十三
七十五	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	七十四
七十六	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	七十五
七十七	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	七十六
七十八	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	七十七
七十九	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	七十八
八十	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	七十九
八十一	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	八十
八十二	八五	八六	八七	八八	八九	八十	八十一	八十二	八十三	八四	八十一
八十三	八六	八七	八八	八九	八十	八十一	八十二	八十三	八四	八五	八二
八十四	八七	八八	八九	八十	八十一	八十二	八十三	八四	八五	八六	八三
八十五	八八	八九	八十	八十一	八十二	八十三	八四	八五	八六	八七	八四
八十六	八九	八十	八十一	八十二	八十三	八四	八五	八六	八七	八八	八五
八十七	八十	八十一	八十二	八十三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	八六
八十八	八十一	八十二	八十三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	八十	八七
八十九	八十二	八十三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	八十	八一	八八
九〇	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	八十	八一	九	八九
九一	八四	八五	八六	八七	八八	八九	八十	九	九一	九二	九〇
九二	八五	八六	八七	八八	九	九一	九二	九三	九四	九五	九一
九三	八六	八七	八八	九	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九二
九四	八七	八八	九	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九三
九五	八八	九	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九四
九六	九	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九五
九七	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九六
九八	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九七
九九	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九八
九〇	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九九
九一	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九一
九二	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九二
九三	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九三
九四	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九四
九五	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九五
九六	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九六
九七	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九七
九八	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九八
九九	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九九
九〇	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九〇
九一	九五	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九一
九二	九六	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九二
九三	九七	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九三
九四	九八	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九四
九五	九九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九五
九六	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	九六
九七	九一	九二	九三	九四							

☆各巻の構成

*表示価格は外税です

- 第1巻：函館引揚援護局史（函館引揚援護局1950年2月）
22,000円 ISBN4-87802-069-5
 - 第2巻：浦賀引揚援護局史（上）（浦賀引揚援護局1947年）
21,000円 ISBN4-87802-070-9
 - 第3巻：浦賀引揚援護局史（下）（浦賀引揚援護局1947年）
21,000円 ISBN4-87802-071-7
 - 第4巻：舞鶴地方引揚援護局史（厚生省引揚援護局1961年3月）
28,000円 ISBN4-87802-072-5
 - 第5巻：局 史（田辺引揚援護局1946年9月）
13,000円 ISBN4-87802-073-3
 - 第6巻：局 史（宇品引揚援護局1947年12月）
22,000円 ISBN4-87802-074-1
 - 第7巻：援護局史（宇品引揚援護局大竹出張所・年不詳）
18,000円 ISBN4-87802-075-X
 - 第8巻：仙崎引揚援護局史（仙崎引揚援護局1946年12月）
17,000円 ISBN4-87802-076-8
 - 第9巻：局 史（博多引揚援護局局史係1947年9月）／地方引揚援護局史（博多引揚援護局戸畠出張所・年不詳）
18,000円 ISBN4-87802-077-6

●第10巻：佐世保引揚援護局史（上巻）（佐世保引揚援護局1949年3月）／佐世保引揚援護局史（下巻）（佐世保引揚援護局1951年3月） 22,000円 ISBN4-87802-078-4

- 第11巻：局 史（鹿児島引揚援護局1947年）
17,000円 ISBN4-87802-079-2

- 第12巻：引揚検疫史 第1巻（引揚援護院検疫局 1952年）／
引揚検疫史 第2巻（引揚援護院検疫局 1952年）／引揚検
疫史 第3巻（引揚援護院 1952年）

- 第13巻：恩賜財団同胞援護会会史（上）（恩賜財団同胞援護会1960年） 21,000円 ISBN4-87802-081-4

- 第14巻：恩賜財団同胞援護会会史（下）（恩賜財団同胞援護会1960年） 22,000円 ISBN4-87802-082-2

- 第15巻：国内引揚関係諸史料 21,000円 ISBN4-87802-083-0
「在外同胞援護会事業誌」／在外同胞援護会「在外同胞援護会現況及計画概要」／同胞援護会「生活保護法と同胞援護」／文部省「帰還者必携」／大分県民生部社会課「引揚者の栄」／広島県「生活重建と県中事情」／引揚援護施設「引揚者扶養問題と引揚者傾向」

●第16巻：引揚者 留守家族のための生活読本

(東京都在外同胞帰還促進留居家族連盟1950年12月)

16,000円 ISBN4-87802-084-9

第一章 治世

（一）大東國御守の義理に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。又御内侍御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。
（二）九月五日拂御内侍御守に身なり御守に付御守御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。
（三）御内侍御守に身なり御守に付御守御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。
（四）御内侍御守に身なり御守に付御守御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。
（五）御内侍御守に身なり御守に付御守御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。
（六）御内侍御守に身なり御守に付御守御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。
（七）御内侍御守に身なり御守に付御守御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。
（八）御内侍御守に身なり御守に付御守御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。
（九）御内侍御守に身なり御守に付御守御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。
（十）御内侍御守に身なり御守に付御守御守の御守に身なり、御恩を重んじて西宮人及び中臣御内人等、導きの拂と口指し、吉に般若といふ事。

●編纂にあたって

- 1、本史料集は海外引揚に関する史料のうち、各引揚援護局史を中心にそ
のほか引揚援護団体に関するものや行政機関作成の引揚者や留守家族
への生活指導書などを加えて、「国内篇」としてまとめ、「シリーズ戦
後処理とアジア」第Ⅱ期とした。
- 2、海外引揚については旧植民地や大陸を中心とした海外各地における史
料があり、在外財産問題の記録もある。これを「国外篇・在外財産篇」
としてまとめ、引き続き刊行の予定である。
- 3、本史料集に収録した原史料の多くは、ガリ版刷であり紙質も悪く、用
紙・印刷とも劣化が激しい。原史料をそのままの提供するという方針
に従い、復刻作業は慎重に行つたが、読み難い部分もある。
4、なお、編集の都合上判型を適宜縮小した。

愛	加	リ	徳	島	シ	慈	悲
女	男	女	男	女	女	男	女
			笑				
女	男	女	男	女	男	女	男
	三	一	三	二			
女	男	女	男	女	男	女	男
	三						
	三	一	九	二			
	三						
崎	玉		福	潤	岩	手	
女	男	女	男	女	男	女	男
					二		
女	男	女	男	女	男	女	男
			一	四	二	五	
女	男	女	男	女	男	女	男
二	一						
二	一	一	六	二			
三		七					

▲多くはこのような謄写版印刷である。(博多)

满州国开拓

KINOKUNIYA ON DEMAND SERIES

●シリーズ 戦後処理とアジア 第Ⅱ期●

海外引揚 関係史料集成 [国内篇] 全16巻

■監修・編集 加藤聖文 国文学研究資料館アーカイブズ研究系助手

A5判・上製クロス表 ISBN4-87802-085-7 C3321

●全16巻 摂定価:本体320,000円+税

KINOKUNIYA ON DEMAND SERIESのご案内

■シリーズ 戦後処理とアジア・第Ⅰ期

日本人の海外活動に関する歴史的調査

[監修] 小林英夫 全23巻 ●摺定価: 本体468,000円+税
敗戦直後の日本(政府)はどのような認識でアジアを捉えていたのか。戦後日本とアジアの関わりを考える上で極めて重要な不可欠の史料。

■シリーズ 戦後処理とアジア・第Ⅱ期 第2回

海外引揚関係史料集成 国外篇・補遺篇

全19巻CD-ROM2枚 ●摺定価: 本体486,000円+税
[監修・編集] 加藤聖文 敗戦から引揚までのアジア各地における日本人の動向を跡付ける貴重史料と、在外財産問題に関する史料を集成する。

秘 大正三年日独戦史 全4巻・別巻2巻・CD-ROM1枚

[監修・解説] 斎藤聖二 ●摺定価: 本体150,000円+税
日本が、開戦から戦後処理まで世界情勢の影響下に置かれ、また近代戦争をくりひろげた第一次大戦日独青島戦争の正史を復刻。別巻には詳細な解説と写真帖を収録。

ゆまに書房 関連企画のご案内

戦後アジアにおける日本人団体

[編] 小林英夫／柴田善雅／吉田千之輔
●定価: 本体4,800円+税 2008年1月刊行予定
引揚げから企業進出まで、戦後アジアと日本との関係に大きな意義を持つ諸団体の活動を記述分析。戦後アジアと日本との経済・外交関係の研究に新しい視点を提示する。

本書の特色

- ①海外引揚問題に関する本格的史料集としては初の試み。
- ②この史料集によってこれまで未開拓分野であった海外引揚研究が注目されるであろう。
- ③各地方引揚援護局の史料は、製作部数も限られており、所蔵機関が全国に散在しているため、入手が難しかつたが、今回初めてこれを集成した。
- ④戦後史・東アジア史研究のほか、社会事業関係の研究、社会学研究、地方史研究、軍事史、さらには女性史や社会医療、教育史などの諸分野にとっても重要な史料である。
- ⑤各地方引揚援護局は「引揚」ばかりでなく戦地からの将兵の「復員」、そして中国人・朝鮮人の「送還」の窓口となっており、本史料集はその精細なデータを含んでいる。また、米軍の軍政下に入った沖縄の出身者についても同様である。
- ⑥地方自治体の厚生事業と今なお密接に関係しているため、自治体にとっても必須の資料である。
- ⑦既刊の『台湾引揚・留用記録』は本史料集の補完の役割を持つ史料であり、あわせて利用されたい。

★本書をおすすめしたい方

日本近現代史、植民地史、東アジア史、国際関係史、軍事史、社会事業史、医療史、女性史等の研究機関及び研究者、大学図書館など。



※オンデマンド出版のため、ご注文から約1ヶ月の製作期間が必要となる場合がございます。

●発行

株式会社 **ゆまに書房**

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6
Tel. 03 (5296) 0491 Fax. 03 (5296) 0493

●発売

株式会社 **紀伊國屋書店** ホールセール部

取扱店